

【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年1月～)の動向(表②参照)

直近(3/30週)の販売個数は、ドリンクタイプ(100～250ml):前年同期比120%以上、個食タイプ(70～130ml):同105%以上、大容量タイプ(350～500ml):同110%以上。

(2)機能性ヨーグルトを中心に免疫カアップに対する期待や、外出自粛等の影響と考えられる家庭内需要によって、ドリンクタイプを中心に前週(3/23週)よりさらに数字を伸ばしている。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	→	↻	↑	↻	↑	↑	↑	↑
個食タイプ	↓	↓	↓	↓	↓	→	↻	↻	↓	→	→	→	↻
大容量タイプ	→	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	→	↻	↻	↻	↑

-  :前年比90%未満
-  :前年比90%以上100%未満
-  :前年比100%以上105%未満
-  :前年比105%以上110%未満
-  :前年比110%以上120%未満
-  :前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。

《その他参考情報》

・家庭用バターについて

家庭内消費の増加に加え、テレビ番組で取り上げられた効果もあり、2月末より大きく販売数量を伸ばしており、インテージデータでは、直近(3/23週)は、前年同期比134.1%となっている。

・食品のチャネル間シェア流入(金額)について

外出自粛や在宅勤務の拡大に伴い食品の購入チャネルにも変化が表れており、特にSM(スーパーマーケット)は、コンビニやデパートからの流入が見られ、前期より増加している(前期61.16%⇒当期61.62%)。また、ドラッグストア(前期11.51%⇒当期11.64%)や宅配・通販等(前期12.29%⇒当期12.40%)への流入も拡大している。

※前期:1/20～2/23週 当期:2/24～3/29週

・新型コロナウイルス感染症対策に関する学校の新学期開始状況等について

4/6時点の調査結果が、文部科学省HPIにて公表されております。

https://www.mext.go.jp/content/20200407-mxt_kouhou01-000006421_1.pdf